

青春不再来

「青春不再来」は、大廊下に掲げられている木彫の言葉です。

「学習、生徒会、部活動などに、生徒は一生懸命です。悩んでいる生徒もいます。でも、どの生徒も、かけがえのない中学校生活を精一杯生きている。」という意味です。

「ポジティブ思考」で充実の2学期に

校長 大塚 啓

朝夕は秋の風が感じられるようになり、過ごしやすくなりました。私は体がまいってしまいそうでしたが、保護者・地域の皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。



さて、夏休みの1ヶ月間、学習や部活動に励む生徒が多かったです。家庭学習を計画的に行って努力した生徒は、必ずその結果が実りとして現れてくると思います。間もなく秋本番を迎えようとしています。秋といえば、読書の秋・スポーツの秋・芸術の秋・食欲の秋と言われるように、何をするにもよい季節です。中学生にとって忘れてはならないのが「勉強の秋」ですね。心と体の調子を整え、かけがえのない中学校時代、自分を鍛えて一回りも二回りも成長してほしいと思っています。

そこで、実り多き秋にするために大切にしてほしいこととして、始業式で生徒に次のように伝えました。

・・・実りの秋を迎えるにあたって大切にしてほしいことがあります。それは、**自分のよさを生かす**ということです。人間誰しもよい面と悪い面を持っていると思います。悪い面はもちろん改善してほしいのですが、ぜひ、自分のよい面に着目して、「**自分はやればできる人だ**」と**ポジティブに考える**ことが大切です。自分の目標を掲げ、それに向けてどう取り組むかを考え、成果を上げましょう。・・・

様々なことに取り組むとき、「面倒だ」とか「自分には無理だ」と、つい最初から考えてしまう人がいます。そう考えてしまうと、人間は今以上に伸びていくことができません。逆に「自分はよく頑張っている」「やっとここまでできたぞ」「最後までやりきろう」というように、**ポジティブに考える**ことが大切です。

体の成長には、様々な栄養分が必要です。同様に心の成長にも栄養分が必要なのです。その栄養となるのが、周りの人からの「褒め言葉」です。食事を毎日取らなければいけないように、心の栄養補給も毎日行う必要があります。実りの秋にするために、子供達の心に栄養を沢山与えてください。家族の褒め言葉、励ましの言葉が一番の栄養となります。保護者の皆様、お子さんのちょっとしたことでも褒めていただきますようにお願いします。

2学期は、新入大会や合唱コンクール、生徒会役員選挙、各種テストの他、3年生は修学旅行も待ち構えています。多くの感動の体験を活かし「頑張る自分」に気付いて、大きく成長することを願っています。

生活アンケートで振り返る 「柿中のグランドデザイン」 学びづくり

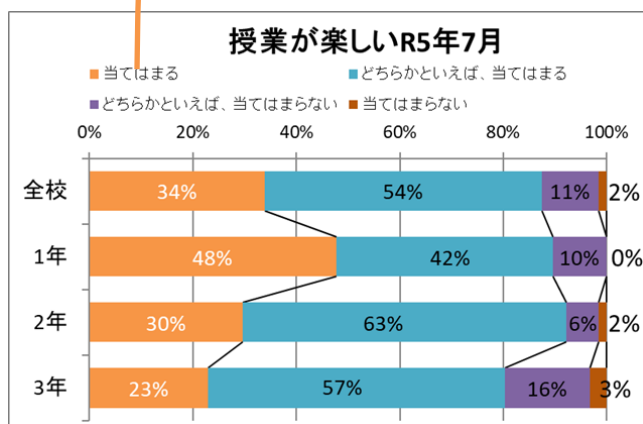
R5年7月実施の
生徒アンケートの結果から



目標

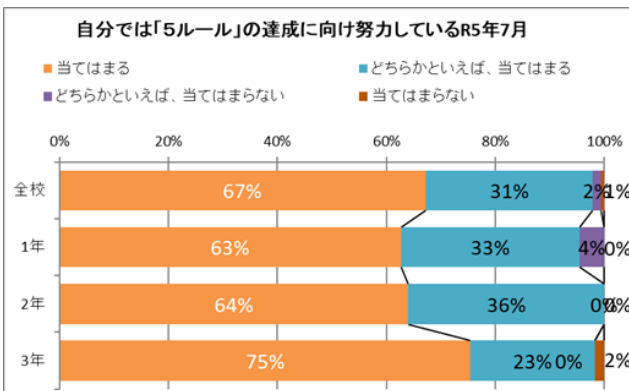
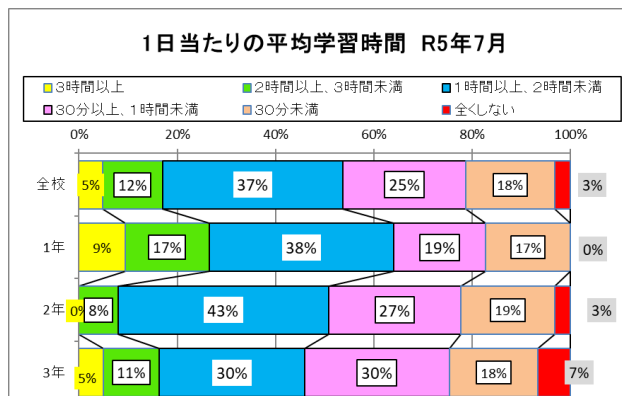
- 「毎日1時間以上家庭学習を行う」8割以上
- 「柿中学習の姿」の達成状況に関する生徒アンケートで、肯定的評価8割以上

グラフは、回答項目の左上から順に表しています。



<成果と課題>

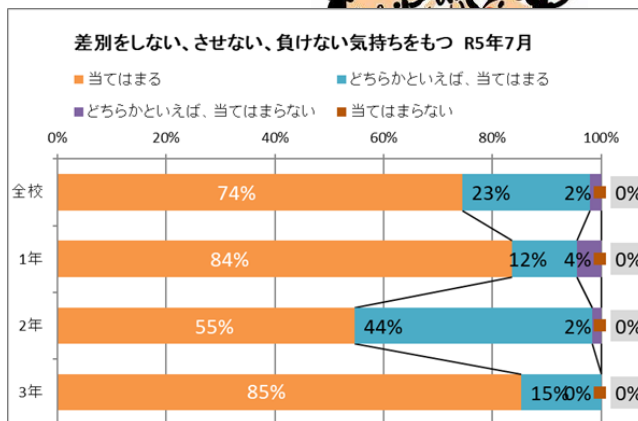
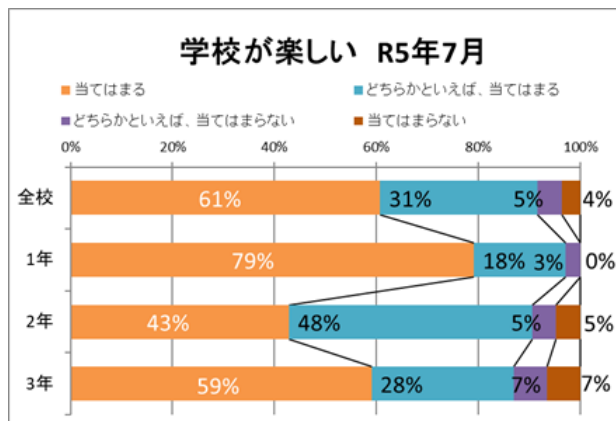
- 「授業が楽しい」と肯定的な回答をした生徒は88%でした。(昨年度85%)
- 「毎日1時間以上家庭学習を行う」生徒は54%(前年度49%)と、目標より大きく下回っています。また、学年が進むとポイントが下がっています。昨年度同様、家庭学習の習慣を身に付けることが大きな課題です。
- 「柿中学習の姿」(5ルール)の達成を目指して努力している生徒の割合は、どの学年も96%を超えています。自己評価からは、どのクラスでも真剣に学びに向かう姿がうかがえます。

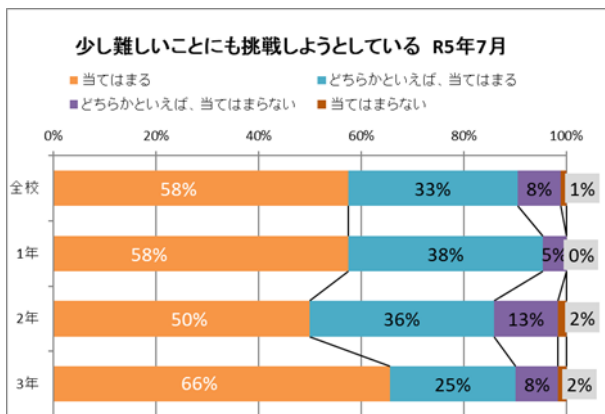


心づくり

目標

- 「学校が楽しい」と回答する生徒8割以上
- 『差別をしない、させない、負けない』という気持ちをもつことができると肯定的な回答をする生徒が8割以上





＜成果と課題＞

- 「学校が楽しい」と肯定的な回答をした生徒は92%(前年度と同値)でした。高い水準ではありますが、全ての生徒が「楽しい」と、やりがいをもって活動できる学校づくりを今後も目指します。
- 今年は「差別をしない させない 負けない気持ちをもつことができています」に肯定的な回答をした生徒が、97%でした(前年度 100%)。高い意識に行動が伴う実践力をはぐくむような指導を心がけます。

身体づくり

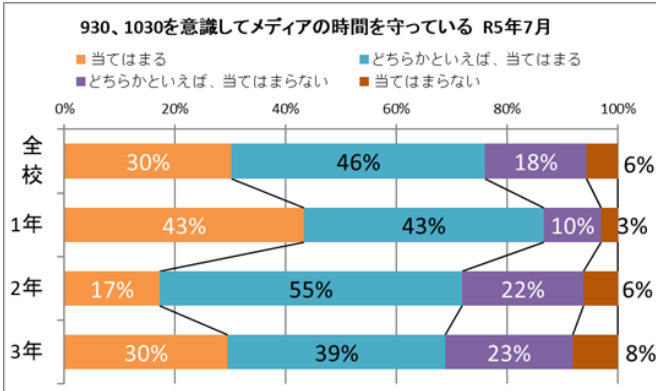
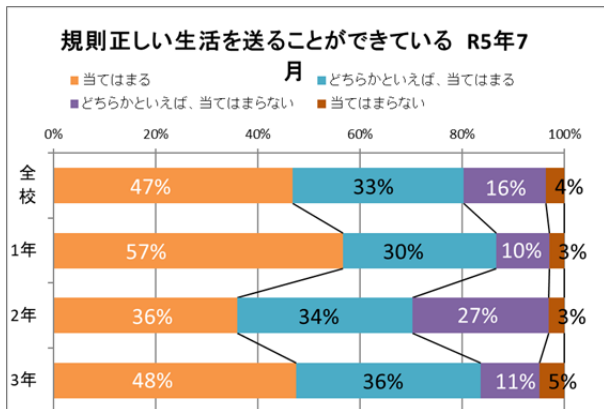
目標

- 「規則正しい生活を送るよう心掛けている」と肯定的に回答する生徒が8割以上
- 「メディアは時間を守って使用している」と肯定的に回答する生徒が8割以上

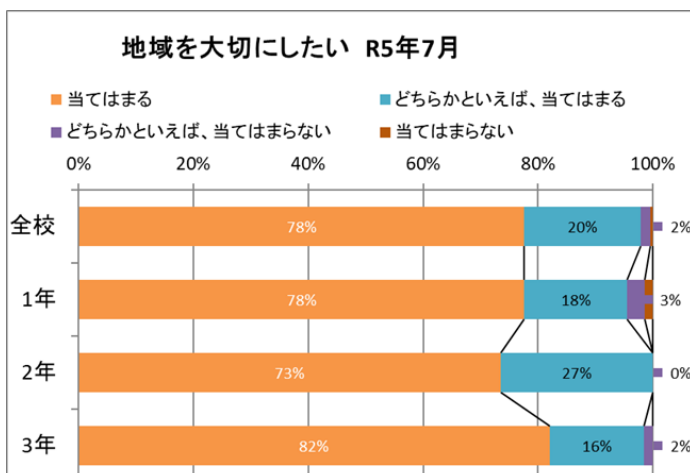


＜成果と課題＞

- 「規則正しい生活を送ることができている」に肯定的な回答をした生徒は80%(前年度 78%)と目標値と同値でした。これと連動して、「メディアの時間について守っている」とした生徒は76%(前年度 73%)と前年度と比べ数値は少しだけ上向きでした。しかし、「SNS終了時刻を午後9:30まで、テレビ・パソコン終了時刻午後10:30まで」と、生徒会が中心になって呼びかけていますが、なかなか改善しません。メディアとの接し方について、生徒会・学校・家庭が連携して真剣に向き合わなければいけないと感じます。今年度はPTA 保体部からメディアセーブの呼びかけがなされました。



地域とのかかわり



- 地域を大切にしたいと肯定的に評価した生徒の割合が高く、全体で98%(昨年度と同値)という結果でした。今年は、コロナ禍による活動制限がなくなり、海岸清掃などの地域貢献活動や時代夏祭り、2年生職場体験活動等、生徒がいきいきと活動できる機会が設けられました。

2学期に着任したスタッフの紹介

トンプソン・レベッカ先生 (ALT)

はじめまして。私はトンプソン・レベッカです。新しいALTです。イギリスのロンドンからきました。素晴らしい海、きれいな山、そしてとてもやさしい柿崎の人たちのおかげで、柿崎中で勤務できることをうれしく思います。柿中生や職員は私にとってもよくしてくれ、ここで過ごすことができラッキーです。皆さんとたくさん話し、この素敵な柿崎の街、日本について、もっと知りたいです。お互いにもっと話し合い、それぞれの文化を共有しましょう。よろしくお願いします。



長井 ロウェナさん (給食配膳員)

はじめまして。長井ロウェナと申します。2学期から給食配膳員として柿崎中学校でお世話になります。私は柿崎区に住んでいます。給食配膳員の仕事は初めてですが、中学生のための給食準備をがんばりますので、どうぞよろしくお願いします。



このほか、上越教育大学学校支援プロジェクトで、8名の院生が来校し、学習支援や保健室支援にご協力いただきます。

これほど多くの院生が来校する学校は少なく、ありがたい限りです。学校への様々な支援に感謝し、今後も、地域の方をはじめとする様々な立場の方との連携を大切に教育活動の充実に努めてまいります。



あいさつ1000人 大運動の実施！

9月12日～15日、柿崎あいさつ1000人大運動を実施しました。今年で11回目の一大行事。運動に参加した生徒の少し大人びた声色や児童へのさりげない声かけをとおして、柿中生の成長を小学校の関係者や地域の方々に届けることができました。



柿崎中にて



柿崎小にて



上下浜小にて



下黒川小にて

お知らせ～柿中 SDGs ディの開催について～

柿崎中学校では、今年、新潟県が主催する「地域の環境学習等支援事業」のモデル校に指定され、環境学習に取り組んでいます。その取組の一つとして、柿崎に住む人にとって身近な「海岸」にある漂着物（ごみ等）を回収し、人間の暮らしと自然との関係について考えるきっかけとするため、10月5日（木）にSDGsディを開催します。地域・保護者の方々からご参加いただけるようでしたら、ぜひ、ご協力をお願いします。詳しくは、環境委員会の生徒が作成したyoutube動画（限定公開）をご覧ください。